

(阿久比町)

市町村の 基本情報	学校数	小学校4校、中学校1校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員	0人	
		地域学校協働活動推進員	1人	
	CS及び地域学校協働本部設置状況	統括コーディネーター	0人	
		地域コーディネーター	0人	
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小 1校	中 0校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 0校	中 0校	



(活動の実際)

阿久比町では、令和6年度より一つの小学校へのモデル先行実施として学校運営協議会を設置するとともに、地域学校協働活動推進員を配置して地域学校協働活動をスタートした。

これまで、学区会やコミュニティ、家庭推進協議会（家推協）、学校PTA等の様々な組織が連携して校内外の行事の活動に取り組んできた。また、校内のボランティア活動については町学校支援地域本部事業「おらが学校応援団」として学校支援ボランティアを募集して活動してきた。これらを再編成し、重複している役割や活動の精選を図るとともに、学校職員の負担の軽減化につなげることを目標とした。

地区の区長経験者が地域学校協働活動推進員となり、地区と学校との仲介役として以下のような取組への関わりを学校の教頭とともに担った。

(活動内容)

- ・学習支援・研修… 授業補助（彫刻刀・ミシン補助等）、読み聞かせ、夏休み学習会（みんなの食堂）
- ・文化広報 … 各種学区行事（盆踊り大会、ハロウィンフェス、凧あげ大会等）、たより発行
- ・保健環境 … 町民レクリエーション大会、校内整備（除草活動等）
- ・生活安全 … 登下校見守り・巡視活動、あいさつ運動

(◎成果と●課題)

◎大字1学区のコミュニティのため、地元のことをよく知る方が推進員を行うことでより学校等の連携を行う枠組みづくりができた。これまで外部とのやり取りは学校の教頭が担うことがほとんどであるが、今後はより推進員が担えるような仕組みを定着させ、他の地区とも取組手法を共有できるようにしていきたい。

●これまでの各組織で連携して取り組んできたことを再編成することを視野に入れているが、モデル校への導入初年度であり、組織再編への見通しが思うように進まなかった。運営、事務等の取り決めや教頭との役割のすみ分けには多くの課題が残る。学校管理職の負担軽減につながる枠組みづくりを確立していくことが必要である。

●組織再編や行事・活動の再構築に伴う学校運営協議会活動に係る予算措置が必要となるが、その根拠や裏付けがなく予算化が見通せない。組織再編等に伴う補助金・委託金から活動費への移行を町教育委員会としても検討し、充実した地域学校協働活動につなげていきたい。

(関係者の声)

・学校内で教員が担っていた活動を地域の方々に協力して取り組んでもらう枠組みはこれまでと変わらない。

(教員)

・地域の方が継続して推進員を担うことで「学校と地域をつなぐ」形が定着するとよい。(学校)

・より充実した活動が行えるように組織再編の情報共有や予算措置を考えていきたい。(教育委員会)